

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	キャリアマネジメント演習		担当教員	相馬浩隆			
領域水準コード	D3	単位数	2	履修方法	選択必修	授業の方法	講義
授業の概要							
高い水準で競技に携わることは、スポーツへの長期にわたる深い自己投入を強いられるということである。そのためには自分が行ってきた競技に対する振り返りや、これからの競技生活を含む人生への展望を行い、統一的な安定した自己像を作り上げることが重要となる。本演習では、これらの活動をどのように実践するかを詳説するとともに、キャリアという観点から競技活動を支えるための方法を学ぶことを目的としている。							
授業の一般目標							
トップアスリートのキャリア問題全般について、人文、社会の各分野の観点から、基礎的な理解をすることができる。							
授業の到達目標							
<input type="checkbox"/> 認知的領域	トップアスリートのキャリアトランジション(現役から引退前後までのキャリアを取り巻く課題・問題)について概要の説明ができる						
<input type="checkbox"/> 情意的領域	トップアスリートのキャリアトランジションに主体的に興味を持ち、現実的な問題解決方法を考えられる						
<input type="checkbox"/> 技能表現的領域	トップアスリートのキャリアトランジションの支援分野における、具体的手法の基礎を習得する						
授業計画(全体)							
本演習では、トップアスリートのキャリアトランジションの現状や課題、支援策について国内外の現状を踏まえ講述する。 なお本演習ではレクチャーだけでなく、ワークショップを通して学生の積極的な参加を求める。年間の後半の授業では、キャリアという観点から競技活動を支えることを演習するために、ナショナルトレーニングセンター(東京都北区)での実践も予定している。							
授業計画(詳細)							
回	授業テーマとその内容						
1	[テーマ] オリエンテーション [内容] 授業目的および概要の解説、シラバスの解説、評価方法と授業の進め方	9	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援プログラムの計画① [内容] トップアスリートへのキャリア支援プログラムの設計手法を解説する				
2	[テーマ] トップアスリートのキャリアトランジション(キャリア問題)概説① [内容] 近年、トップアスリートのキャリア問題が顕在化してきた背景について解説する。	10	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援プログラムの計画② [内容] トップアスリートへのキャリア支援プログラム設計を演習する(1)				
3	[テーマ] トップアスリートのキャリアトランジション(キャリア問題)概説② [内容] トップアスリートのキャリア問題とは何か、その解決課題は何かを、具体例を挙げながら解説する(1)。	11	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援プログラムの計画② [内容] トップアスリートへのキャリア支援プログラム設計を演習する(2)				
4	[テーマ] トップアスリートのキャリアトランジション(キャリア問題)概説③ [内容] トップアスリートのキャリア問題とは何か、その解決課題は何かを、具体例を挙げながら解説する(2)。	12	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援の実践① [内容] 計画したプログラムの実習(受講生同士での模擬的実習)(1)				
5	[テーマ] トップアスリートへのキャリア支援手法概説① [内容] 解決課題に対し、現在おこなわれている国内の支援手法を概説する。	13	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援の演習② [内容] 計画したプログラムの実習(受講生同士での模擬的実習)(2)				
6	[テーマ] トップアスリートへのキャリア支援手法概説② [内容] 解決課題に対し、現在おこなわれている国外の支援手法を概説する(1)。	14	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援の演習③ [内容] 計画したプログラムの実習(アスリートに対する実施への参加)(1)				
7	[テーマ] トップアスリートへのキャリア支援手法概説③ [内容] 解決課題に対し、現在おこなわれている国外の支援手法を概説する(2)。	15	[テーマ] トップアスリートに対するキャリア支援の演習④ [内容] 計画したプログラムの実習(アスリートに対する実施への参加)(2)				
8	[テーマ] トップアスリートへのキャリア支援手法概説④ [内容] 現在おこなわれている国内外の支援手法の成果と課題を概説する。	16	[試験または課題] 授業の理解度を測定するための試験の実施、または課題を与える。 [方法]				
授業外学習の指示等							
講義には実際の支援プログラムの計画立案、実施が含まれる。これは授業時間内だけでは時間が不足するため、授業外での調査、分析、まとめが必要となる。							
成績評価方法(方針)							
提出されたレポートを評価するとともに、立案された支援プログラム及び実践の内容も評価する。							
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)		
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	・20分以上の遅刻は欠席と同等の扱いをする。 ・授業計画は授業の進捗により若干前後することがある。		
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート	◎	○	○	70%			
授業外のレポート	◎		○	30%			
ポートフォリオ							
出席							
その他							
関連科目							
教科書	特に指定しない			参考書	特に指定しない		
連絡先	ナショナルトレーニングセンター tel.(03)5963-0355 email:h-soma@joc.or.jp						